

## 平成 25 年度地域資源を活用した新商品開発事業報告（陶磁器）

西川 孝<sup>\*</sup>，稲垣順一<sup>\*</sup>，榑谷幹雄<sup>\*\*</sup>，林 茂雄<sup>\*\*</sup>，林 大貴<sup>\*\*</sup>，伊藤 隆<sup>\*</sup>

### Project Report of Promotion Program on Development of Ceramics with Regional Resources

Takashi NISHIKAWA, Jun-ichi INAGAKI, Mikio SAKAKIYA, Shigeo HAYASHI,  
Daiki HAYASHI and Takashi ITO

#### 1. はじめに

国内陶磁器産業は、中国をはじめとする海外からの安価な製品の輸入の増加、デフレスパイラルによる顧客の買い控えやライフスタイルの変化に伴う総需要の減少等様々な要因により、この 20 年ほどの間、国内生産量は減少し続けている<sup>1)</sup>。また、これに伴い四日市萬古焼、伊賀焼の産地において、国内他産地との競争は年々厳しさを増している。

こうしたなか、本事業<sup>2,3)</sup>では四日市萬古焼と伊賀焼を地域資源であると定め、それぞれの地域において関連団体や市町等の多様な主体と県の連絡会議を開催した。

さらに、この多様な主体に加え、四日市萬古焼・伊賀焼事業者に参加を募り、それぞれの地域で連携研究会(図 1)を開催したので、ここに報告する。

#### 2. 連絡会議及び連携研究会の開催

表 1 に平成 25 年度に実施した連絡会議及び連携研究会の概要を示す。四日市萬古焼、伊賀焼の事業組合、関連団体、市町、県等による連絡会議においては、各主体の支援メニューの紹介を行い、情報交換及び意見交換を行うことにより一層連携を深め、これまで実施してきた活動をさらに活発に行っていくことを確認した。連携研究会においては事業者にも参加を広く募り、当室保有の技術シーズの紹介、試作品の紹介を行うとともに、新商品開発セミ



図 1 連携研究会

ナー等を通して情報提供を行うことにより、共同研究による新商品の開発を推進するために、四日市、伊賀の各地区においてそれぞれ二回ずつ開催した。

#### 3. 試作提案及び共同研究の実施

試作品においては当研究室から、伊賀焼産地において江戸時代から伝わる蒸留器である「らんびき」をアロマエッセンス抽出用の道具としてデザインしたものを試作提案(図 2)した。

この提案後、共同研究の要望があった事業者と共同研究契約を締結し、共同研究を行い、試作品を作製した。

また、これとは別に 1 件の研究契約を締結し、共同研究を行った。共同研究の概要については表 2 に示す。

\* 窯業研究室

\*\* 窯業研究室伊賀分室



図2 フローラルウォーター抽出用陶製蒸留器「らんびき」

#### 4. まとめ

連絡会議は開始後3年目となり、四日市萬古焼、

伊賀焼の各担当者が情報交換・意見交換を行い、効果的に連携を図って行く場として着実に定着しつつある。

また、連携研究会においては当室保有の技術シーズの紹介・試作品の提案、新商品開発セミナーを開催し、これらにより、地域資源を活用し、新商品開発や課題解決に向けた取り組みをさらに強めていきたい。

#### 参考文献

- 1) 経済産業省 工業統計表(1991～2012)
- 2) 水野加奈子ほか“地域資源を活用した新商品開発事業報告(陶磁器)”. 三重県工業研究所研究報告, No.36, p136-138 (2012)
- 3) 榎谷幹雄ほか“平成24年度地域資源を活用した新商品開発事業報告(伊賀焼)”. 三重県工業研究所研究報告, No.37, p128-129 (2013)

表 1 連絡会議及び連携研究会の概要

| 日時                | 内容  | 場所        | 参加者数          |
|-------------------|---|-----------|---------------|
| ●伊賀焼関係連絡会議        |   |           |               |
| H25.6.18          | 1. 参加機関からの伊賀焼関連事業（取組）紹介<br>2. 意見交換 等  | 伊賀焼伝統産業会館 | 10 機関<br>14 名 |
| ●四日市萬古焼関係連絡会議     |   |           |               |
| H25.6.26          | 1. 参加機関からの萬古焼関連事業（取組）紹介<br>2. 意見交換 等  | 窯業研究室     | 11 機関<br>14 名 |
| ●第 1 回伊賀焼連携研究会    |   |           |               |
| H25.8.6           | 1. 窯業研究室技術シーズ紹介 林 茂雄<br>2. 共同研究公募のお知らせ 林 茂雄<br>3. 試作品紹介「らんびき」について 榎谷 幹雄<br>4. 基調講演<br>「陶磁器に関する有害物質について」 林 茂雄                                    | 伊賀焼伝統産業会館 | 19 名          |
| ●第 1 回四日市萬古焼連携研究会 |   |           |               |
| H25.9.17          | 1. 窯業研究室技術シーズ紹介 伊藤 隆<br>「粘土を用いた多孔質焼成体の吸放湿性」<br>2. 共同研究公募のお知らせ 西川 孝<br>3. 新商品開発セミナー<br>「今話題の 3D プリンタを利用してやきものづくりを考える」<br>(株) テクノソリューションズ 矢島 吉治氏他 | 窯業研究室     | 23 名          |
| ●第 2 回伊賀焼連携研究会    |   |           |               |
| H25.10.15         | 新商品開発セミナー<br>「地域ブランド化と商品展示の実際」<br>EMK デザインスタジオ 小野 恵美子氏  | 伊賀焼伝統産業会館 | 15 名          |
| ●第 2 回四日市萬古焼連携研究会 |   |           |               |
| H26.1.17          | 1. 窯業研究室技術シーズ紹介 伊藤 隆<br>「粗粒石英を含むペタライト質土鍋素地」<br>2. 新商品開発セミナー<br>「今後のお客様の消費動向に対応した商品開発売り場開発」<br>イオン（株） 安川 和彦氏                                     | 窯業研究室     | 18 名          |

表 2 共同研究の概要

| 期間                | 研究課題                          | 共同研究先   |
|-------------------|-------------------------------|---------|
| H25.9.20～H26.2.28 | フローラルウォーター抽出用陶製蒸留器「らんびき」の製品開発 | 萬古焼製造業者 |
| H25.10.7～H26.2.28 | 萬古急須の新規共茶こしの開発                | 萬古焼製造業者 |